

前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 01 地域資源を活用した戦略的な産業振興

主管課長職・氏名	商工観光課長 長内司善
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	ICT（情報通信技術）を活用した自然、観光、農産物など価値ある地域情報を提供し、これらを広域連携へと展開し、集客力の向上を目指します。また地域特産品のブランド化の推進や異業種連携や農商工連携等による商品開発を様々な機関と連携して推進し、地域産業の活性化を目指します。							
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし チャグチャグ馬コの入込客数 単位 千人	28	28.5	29	29.5	30	30	D	
			22	18	-	-	-	△500.0	
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	C	
			72.3	78.3	-	-	-	117.1	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 03010100 自然資源や伝統文化を活かした観光振興 チャグチャグ馬コの入込客数 単位 千人	28	28.5	29	29.5	30	30	D	
			22	18	-	-	-	△500.0	
2	幸福 03010100 自然資源や伝統文化を活かした観光振興 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	C	
			72.3	78.3	-	-	-	117.1	
3	暮らし 03010200 商工業の支援と地域資源を活かした産業振興 法人事業所数 単位 所	861	869	871	873	875	876	A	
			932	951	-	-	-	600.0	
4	幸福 03010200 商工業の支援と地域資源を活かした産業振興 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42	43.5	45	46	C	
			40.4	40.4	-	-	-	13.8	
	単位								

前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策：03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策：01 地域資源を活用した戦略的な産業振興

主管課長職・氏名	商工観光課長 長内司善
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

C	一部達成した
<p>チャグチャグ馬コの入込数の増加を図るためチャグチャグ馬コ同好会員に対する支援や同好会青年部が活動する場を設けるなど維持保存にかかる取り組みを実施しました。また、ICTを活用した情報発信などを実施し集客に努めました。</p>	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】 自然資源や伝統文化を活かした観光振興</p> <p>【重点課題に対する達成状況】 自然資源や伝統文化を活かした観光振興については、岩手山や鞍掛山の山開きやイベントの開催、また伝統行事チャグチャグ馬コ大行進のほか馬コを活用したイベントに積極的に参加を推進しました。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

A	社会環境変化なし
<p>当基本施策に影響する社会環境変化はありません。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必要であるため、見直しの必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】 交流拠点複合施設を核として、自然資源や観光資源の情報発信や、市民や企業、大学や関係団体と連携し滝沢ブランド創出に関する取組を進めます。また滝沢市商工会と連携し、市内中小企業のニーズや課題等について調査し、課題解決に向けた対策を研究します。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光施設の整備や維持管理に要する財源不足 ・チャグチャグ馬コ出馬者の減少や高齢化 ・中小企業に対する支援体制の強化 	

